

★県政いろいろ★

◆埼玉テレビ

データ放送開始（3月23日）→「dボタン」により県情報、災害情報を提供。



◆「幻想百物語埼玉へ妖怪編」

県内に言い伝えの残る妖怪の

ガイドブックを作成（3月21日）

→無料配布中

◆「イクメンの素」

核家族率全国2位、通勤時間4位

就労時間6位の埼玉県…。

父親の育児参加を促す



ガイドブックを発行（2月下旬）

→無料配布中

◆浦和競馬「ウインズ浦和」開設

県とうらわ市で構成、管理し、平日にレースが開催される浦和競馬場。そこに県内初となる「JRAの場外発売場」が開設（2月19日）一年間約4億円の増収に。

◆「埼玉県でのフルマラソン復活か！」

川内選手の活躍や

ランニングブームである

現況から大会復活の

検討に入る。



◆2019年ラグビーW杯日本開催

「ラグビータウン熊谷」にW杯の試合を招致する方向で運動展開する。

◆認知症サポーター養成

理解・啓蒙を目的に、国が進めるボランティア制度。講座受講者 埼玉市 970人／県内18位。さいたま市 14000人／県内1位（23年1月現在）。

※中原事務所にて『認知症養成サポーター養成講座』開催（平成24年2月8日）

◆さいたまゴールドシアター

蟠川幸男氏を演出に迎える、

演技未経験者を中心とした

高齢者演劇集団。

2006年発足以来第5作目となる

新作「ルート99」が先日公演された。



→吉川高校演劇部との連携の中で、「吉川版ゴールドシアター」を立ち上げられないものだろうか？

⑥水源地域保全条例

- 水源地を将来的な買収から未然に守るため、秩父地域を中心11万5千ヘクタールを北海道に続き2例目の条例化。
- 土地売買時に氏名、利用目的を県に届け出。
- 県として事前把握、勧告は行えるが取引停止は出来ない。
- 県民に水源地保全への理解を促す効果。



ぜひ、ご協力を！

- (財)埼玉県生態系保護協会による『水のトラスト基金』活動。→市民や企業から寄付を募り、これまでに、秩父の水源の森を約84ヘクタール取得。



⑦被災地支援

- 昨年6月より、岩手県山田町への支援を継続しています。その中で私たちが大事にしていることは①個々別々のニーズに応えるべく、個人ベース、顔の見えるサポート、②長期化する様々な問題に対して、継続したサポート、③子供たちへのサポートとして、野球やホームステイ受け入れを通じての交流、です。●ご協力よろしくお願ひいたします。

⑧放射能問題について

●測定・除染

→子供が良く利用する県有施設272施設をこれまでに測定。その中で、毎時 $1\mu\text{Sv}$ 以上の高い数値が出た場所は除染完了。今後は必要があれば個別に測定・除染を行う。

●岩手県野田村のがれきの受け入れ

→三菱マテリアル横瀬工場・太平洋セメント熊谷工場・日高工場の三か所において、12,13年度で5万トンを受け入れ予定。3月25日に試験焼却し1キロあたり40ベクレル以下の結果。今後、地元説明会を開催。

●下水汚泥の焼却灰問題

→埼玉県内の県営下水処理場5ヵ所において発生する焼却灰の受け入れが拒否され、9450トンが仮置きされている問題。セシウム濃度は国基準8000ベクレルを下回る1キロあたり450～2000ベクレル。2月末に県外複数の民間産廃処理場が受け入れてくれるこになり、運搬開始。場所は非公表